


事業名		図書室 おはなし会		
予算	歳入予算 (円)	歳入実績 (円)	歳出予算根拠 (円)	歳出実績 (円)
平成4年度			冊価1,170円×3冊×2人×43回=301,860円 冊価1,170円×3冊×4人×2回=29,080円 別途、材料費(折り紙・シール等)	329,940
令和5年度			冊価1,210円×3冊×2人×44回=319,440円 冊価1,210円×3冊×4人×2回=29,040円 別途、材料費(折り紙・シール等)	348,480
事業の位置付け	根拠法	社会教育法、狛江市立公民館条例、狛江市立公民館条例施行規則		
	市の基本計画	狛江市前期基本計画 まちの姿6「生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち」 施策6-①「地域における学びの充実」方向性2「生涯を通じた学びの実現」 第3期狛江市教育振興基本計画 基本方針(4)生涯を通じた学びの充実 ①学びの環境づくり「地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。」		
事業目的	西河原公民館図書室で事業全体の企画と運営を行っており、子ども達が本や言葉に親しむきっかけづくりとして開催している。絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居や折り紙、季節の工作、季節の伝統行事に関連した内容を盛り込むことで、子ども達に本の楽しさを知ってもらうとともに、文化についても学べるようにするなど、多彩なプログラムにより親子で楽しめる内容の事業である。		持続可能な開発目標 (SDGs)	
事業内容	開催頻度	毎週木曜日・月1回(土・日)		
	新規・継続	継続	実施主体	市
	実施対象	市民	参加者数	延 193人
事業評価 <評価視点> A：進捗している・期待どおりの成果がでている B：現状維持・ある程度の成果がでている C：あまり進捗していない・あまり成果がでていない D：まったく進捗していない・まったく成果がでていない	評価項目	評価理由		評価
	<企画・計画性> 実施するにあたって企画を深められたか 計画的に実施することができたか	▼例年同様の事業とはなっているが、担当職員全体でミーティングを行ったり、他のおはなし会グループとの交流を通じて問題点の抽出を行いフィードバックすることで企画自体の研鑽を行っている。		公民館 B 公運審 全体
	<周知> 市民に周知されているか	▼チラシ等を作成し、地域センター・近隣の幼稚園等に配布したり、「広報こまえ」等の周知を行っている。		公民館 B 公運審 全体
	<実施・運営> 事業の実施に伴い、人員、設備、衛生面等は適切であるか	▼事業の実施に必要な人員及び設備は確保している。衛生面においても万全を期している。		公民館 B 公運審 全体
	<満足度> 参加者にとって満足のいく内容であったか 利用者のニーズを反映できているか	▼参加者からは、絵本の読み聞かせ、紙芝居、折り紙、季節の伝統行事等の内容を盛り込むことで、親子で楽しめる工夫があり、参加者から大変好評である。		公民館 B 公運審 全体
	<達成度> 公民館が目的を達成できたか 市の課題解決に役立っているか	▼おはなし会を実施することで、本や言葉に親しむきっかけづくりとなる。親子で本を楽しむ文化についても学べることで様々な情操教育につながっていると自負している。 ▼地域における学びの充実、学びのための第一歩として親子で楽しめる内容となっていて、課題解決に役立っている。		公民館 B 公運審 全体
今後の課題	▼児童館や地域センターでも、おはなし会を実施しているため、西河原公民館図書室として、もう少し小さい子ども向けにも対応していきたい。 ▼木曜日の午後を実施しているが、時間的に参加しづらかったのか、参加人数に減少傾向がみられる。今後は、木曜日以外の土日の日数を増やすなどの検討をしていきたい。			
総合評価				